



被爆80周年の取組

令和7年2月
広島市

目 次

被爆 80 周年の取組について.....	P 1
被爆 80 周年記念事業一覧.....	P 4
1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護.....	P 8
2 平和文化の振興	
(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感.....	P 9
(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供.....	P 13
(3) まちの姿を通した平和への願いの発信.....	P 17
(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり.....	P 19
(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上.....	P 21

被爆 80 周年の取組について

1 趣旨

世界では各地で紛争が発生・長期化し、核兵器使用のリスクが懸念されていることに加え、核保有国において核兵器の近代化や増強が図られるなど、緊迫した情勢が続いている。

そのため、本市では、市民社会において核兵器のない世界を目指すという総意を形成し、世界規模で核抑止論からの政策転換を押し進めるような大きな潮流を作り出していく必要があると考え、平和首長会議に加盟する国内外の都市と共に、平和文化の振興を図るための取組を進めている。

こうした中、令和 7 年（2025 年）に被爆 80 周年を迎えることになるが、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の重要性と、それを推進していくことの必要性は、従来にも増して大きくなっている。また、令和 5 年 5 月に本市において G7 広島サミットが開催されたことにより、「核兵器のない世界」の実現を目指すヒロシマの存在が世界に向けて発信され、本市のこれまでの取組の重要性が再確認されたところである。

こうしたことから、被爆 80 周年は、これまでも行ってきた「原爆死没者の慰霊と被爆者の援護」に、「平和文化の振興」を柱の一つに加えた上で、六つのテーマに沿って記念事業を実施する。また、こうした取組に当たっては、戦争経験者や被爆者の高齢化が進展している現状を踏まえて、次世代の平和文化の担い手を育成する観点に立って、若い世代の主体的な取組や積極的な参画を促し、「ヒロシマの心」を次世代につないでいくとともに、国内外の都市との連携の輪を広げていくことが重要となっていることにも留意しながら進める。

あわせて、記念事業を含めた被爆 80 周年の取組の機運を高めるため、ロゴマーク等を活用した周知に努めるとともに、被爆 80 周年を契機として、芸術文化活動やスポーツ活動を始めとした平和文化の振興に資する取組を、行政だけでなく市民や企業等も含めた全市民的なものとして展開していくため、これまでも増して民間主体の取組への支援を行っていく。

2 基本方針

1 の趣旨を踏まえ、次の二つの柱、六つのテーマに沿って記念事業を実施するとともに、市民等が主体となっていく「平和文化の振興」に資する取組への一層の支援を行っていく。

(1) 被爆 80 周年記念事業の実施

柱	テーマ
原爆死没者の慰霊と 被爆者の援護	・ 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護
平和文化の振興	・ 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感 ・ 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供 ・ まちの姿を通じた平和への願いの発信 ・ 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり ・ 平和都市としての国際的な認知度の向上

ア 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護

被爆 80 周年の節目を迎え、国内外から一層多くの参列を得て原爆死没者を慰霊するとともに、高齢化が進む被爆者の援護に引き続き取り組む。

イ 平和文化の振興

(ア) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感

被爆 80 周年の節目に、文化芸術やスポーツのイベント等を実施し、参加者が平和であることに思いを馳せることができる機会を提供する。

(イ) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供

次世代の平和文化の担い手の育成が求められている現状を踏まえ、青少年への平和教育や、市民や来訪者が平和について学ぶことができる場の提供などに積極的に取り組む。

(ウ) まちの姿を通した平和への願いの発信

景観や建築物などまちの姿を通して平和への願いを発信できるよう、ハード・ソフト両面での事業を実施する。

(エ) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり

戦争経験者・被爆者の高齢化を踏まえ、被爆の実相を伝える被爆建物や被爆樹木の保存・活用の取組、新たなデジタル技術を活用した被爆体験の継承活動などに積極的に取り組む。

(オ) 平和都市としての国際的な認知度の向上

被爆 80 周年の節目に、国際的な交流イベントの実施や、国内外に向けた平和メッセージの発信などに積極的に取り組む。

(2) 市民等が主体となっていく「平和文化の振興」に資する取組への支援

市民等が主体となっていく「平和文化の振興」に資する取組への統一的な支援として、被爆 80 周年のロゴマークの使用※や本市ホームページ等での取組発信、キーミュージックの活用などにより、被爆 80 周年記念事業と一体感のある周知協力等を行う。

※ 使用承認は、各担当課における後援等の手続きに合わせて行う。

<参考 1> 「被爆 80 周年記念事業」及び「市民等が主体となっていく『平和文化の振興』に資する取組」

「被爆 80 周年記念事業」及び本市が支援・連携等を行っている「市民等が主体となっていく『平和文化の振興』に資する取組」の最新の一覧は、以下のホームページに掲載する。

(1) 被爆 80 周年記念事業

※ 本冊子の内容を掲載中。以降、随時更新



(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/1/394389.html>)

(2) 市民等が主体となっていく『平和文化の振興』に資する取組

※ 4 月頃掲載予定。以降、随時更新



(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/1/415764.html>)

＜参考 2＞ ロゴマーク等

被爆 80 周年の取組を広く周知するとともに、統一感を持って展開するため、被爆 80 周年の取組に関連する事業を P R するチラシやパンフレットへの掲載などに用いるロゴマーク及びキービジュアル、また、記念事業のイベント実施時やデジタルサイネージで P R する際などに用いるキーミュージックを設定する。

(1) ロゴマーク

国内外に向けて、被爆 80 周年であることを分かりやすく伝えるとともに、被爆の惨禍を経験した長崎市と連携して一体感をもって P R を図っていくため、記念事業の一つでもある広島・長崎連携観光キャンペーンのロゴマークを基に設定する。



(2) キービジュアル

令和 7 年 3 月末頃公開予定

(3) キーミュージック

市民を始め、国内外からの多くの来訪者とも平和への思いを共有できるようにするため、本市を世界平和の原点にしようという願いを込めて昭和 22 年 8 月 6 日に開催された「平和祭」に向けて作成され、今日の平和記念式典まで歌い継がれている「ひろしま平和の歌」をキーミュージックに設定する。

＜ひろしま平和の歌＞

※ 以下の QR コードを読み込むと、それぞれの広島市公式 Y o u T u b e 配信に遷移する。

＜日本語版＞



＜英語版＞



被爆 80 周年記念事業一覧

※第一次取りまとめ（令和 6 年 2 月）から追加した事業に下線を引いている。

区 分	事 業 名	頁
1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護		
1	平和記念式典開催	8
2	平和記念式典への在外被爆者等の招へい	8
3	被爆者との交流促進等事業の実施	8
4	原爆供養塔の公開	8
2 平和文化の振興		
(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感		
5	<u>ファミリーミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」の開催</u>	9
6	広島平和ミュージカル等の開催	9
7	<u>オロチ・神楽とオーケストラの協演-平和の舞 2025“鎮魂と再生”-被爆 80 周年公演</u>	9
8	現代美術館特別展の開催	9
9	平和のタペコンサートの開催	9
10	広島ゆかりのアニメーション 2025 上映会の開催	9
11	広島国際映画祭の開催	10
12	<u>被爆 80 周年広島交響楽団特別定期演奏会の開催</u>	10
13	<u>広島ウインドオーケストラ平和定期演奏会の開催</u>	10
14	<u>平和芸術団の海外派遣</u>	10
15	観音新町運動広場開場記念競技大会の開催	10
16	広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催	10
17	<u>「アーバンフューチャーズ広島」の開催支援</u>	11
18	<u>「第 64 回 1000 万人ラジオ体操・みんなの体操祭」の開催</u>	11
19	<u>姉妹都市との青少年交流事業</u>	11
20	<u>レジェンドサッカーチャリティーマッチの開催支援</u>	11

区 分	事 業 名	頁
	21 <u>被爆ピアノによる慰霊演奏会の開催</u>	11
	22 マーガレットコンサートの開催	11
	23 障害者ピースアート事業の実施	11
	24 I PRAY 2025 の開催	12
	25 <u>東京ガールズコレクションを活用した広島の魅力発信</u>	12
	26 「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインリニューアル	12
(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供		
	27 <u>似島歓迎交流センターの歴史平和資料等の展示スペースリニューアル</u>	13
	28 <u>国連軍縮研究所(ユニディール)による講演会及び研究交流会の開催</u>	13
	29 青少年を中心とする平和文化イベントの開催	13
	30 原爆・平和を読み語り継ぐ事業の実施	13
	31 「子どもたちへ原爆を語りつぐ本ー総集版・2025ー」の発行関連事業の実施	13
	32 平和をテーマにした映画の特集上映	13
	33 平和記念都市広島の発展をたどる写真展の開催	14
	34 博物館資料を活用した企画展の開催	14
	35 <u>平和のためのダイアログ・イン・ザ・ダーク広島</u> の開催	14
	36 戦後 80 年の暮らしの変化をたどる企画展示	14
	37 被爆建物(旧広島地方気象台)ガイドと原爆被害調査資料の展示	14
	38 被爆電車の車内公開等の実施	14
	39 企画展「ユネスコ世界の記憶 広島原爆の視覚的資料-1945 年の写真と映像」の開催	14
	40 若い世代による被爆地での平和学習に対する支援	15
	41 若者による平和の誓いの集いの開催	15
	42 <u>国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展の開催</u>	15
	43 <u>「広島・長崎講座」設置協力プログラムの実施</u>	15
	44 国連訓練調査研究所(ユニタール)の研修プロジェクトに対する支援	15

区 分	事 業 名	頁
	45 広島・長崎市児童生徒平和のつどいの開催	15
	46 復興の都市計画についての企画展の開催	16
	47 <u>夏の夜、祈りと平和の夕べ</u>	16
	48 『「命の水」～ひろしま水道物語～』による被爆体験の伝承	16
	49 <u>こどもたちによるヒロシマの継承と発信</u>	16
	50 <u>小・中・高校生による文化の祭典</u>	16
(3) まちの姿を通した平和への願いの発信		
	51 毛利輝元没後 400 年記念事業の実施 ～はじまりの天守、つなぐ広島城三の丸歴史館～	17
	52 平和大通りの利活用の推進(平和大通りへの芸術作品の設置等)	17
	53 広島の誇りある景観まちづくり形成プロジェクト	17
	54 京橋の復元	17
	55 西平和大橋歩道橋の整備	17
	56 <u>アートラッピングを施したスマートごみ箱の設置</u>	18
	57 <u>基町写真展の開催</u>	18
(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり		
	58 国内ジャーナリスト研修	19
	59 被爆樹木の再生利用	19
	60 AI・VRを活用した被爆体験の継承	19
	61 国内原爆・平和展の開催	19
	62 被爆体験記集の作成・配付	19
	63 平和記念資料館の混雑対策	20
	64 <u>平和記念資料館のこども向け展示の整備</u>	20
	65 <u>平和記念資料館東館 1 階「情報コーナー」のリニューアル</u>	20

区 分	事 業 名	頁
(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上		
66	「平和記念都市広島誕生」の編集・発行	21
67	平和に関するシンポジウムの開催	21
68	平和文化月間におけるイベントの開催	21
69	<u>大阪・関西万博開催期間における平和の発信力の強化</u>	21
70	<u>第 63 回パグウォッシュ会議世界大会の開催支援</u>	21
71	<u>広島プレスツアーの実施</u>	22
72	ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催	22
73	第 11 回平和首長会議総会	22
74	国際フェスタの開催	22
75	姉妹・友好都市記念イベントの開催	22
76	<u>「オリーブの木」記念植樹式の開催</u>	22
77	<u>若者による相互理解・交流促進事業の実施</u>	23
78	青少年国際平和未来会議の開催	23
79	広島・長崎連携観光キャンペーン事業の実施	23
80	ピースツーリズム推進事業の実施	23

1 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護

被爆 80 周年の節目を迎え、国内外から一層多くの参列を得て原爆死没者を慰霊するとともに、高齢化が進む被爆者の援護に引き続き取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
1 平和記念式典開催 【市民局市民活動推進課】	原爆死没者の霊を慰めるとともに、世界恒久平和の実現を祈念するため、遺族・市民及び各界有志参列の下に平和記念式典を開催する。また、来賓の充実や、平和首長会議役員都市の青少年代表の招へいなど市民参画の推進、さらには長崎市と連携した広報の充実などに取り組む。 時 期：令和 7 年 8 月 6 日 場 所：平和記念公園
2 平和記念式典への在外被爆者等の招へい 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	核兵器廃絶と世界恒久平和を願う思いを共有するとともに、在外被爆者の心身の保養を図るため、平和記念式典に在外被爆者及びその遺族を招へいし、国内在住被爆者との交流や健康相談などを実施する。 時 期：令和 7 年 8 月 場 所：平和記念公園、原爆養護ホーム など
3 被爆者との交流促進等事業の実施 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	神田山荘において、被爆者と一般客との交流や平和学習の場としての活用を一層促進するため、平和に関するパネル展示やバザー、健康づくりコーナー等の設置を行う「神田山荘フェスタ」を開催する。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：神田山荘
4 原爆供養塔の公開 【健康福祉局原爆被害対策部調査課】	原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を願う思いを共有するとともに、氏名が判明している遺骨の遺族捜しにつなげるため、原爆供養塔の納骨室を報道機関に公開する。併せて、老朽化している原爆供養塔について、納骨室の防水や植栽の補修等を行う。 時 期：令和 7 年 7 月 場 所：平和記念公園（原爆供養塔）

2 平和文化の振興

(1) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感

被爆 80 周年の節目に、文化芸術やスポーツのイベント等を実施し、参加者が平和であることに思いを馳せることができる機会を提供する。

事業名【担当課等】	事業内容
5 ファミリーミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」の開催 【企画総務局地域活性化調整部 地域活性推進課】	戦争遺構が多く残る似島が、日本におけるバウムクーヘン発祥の地であることを広くPRするとともに、「平和への思い」の共有を図るため、広島市出身の作家・巢山ひろみ氏による「平和」と「幸せ」をテーマにした「バウムクーヘンとヒロシマ」を題材としたファミリーミュージカルの広島公演を開催する。 時 期：令和7年11月16日 場 所：JMSアステールプラザ 大ホール
6 広島平和ミュージカル等の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	文化交流により、「平和への思い」を共有し、被爆の実相を次世代へ継承するため、ホノルルのこどもたちのミュージカルグループによる佐々木禎子さんの生涯を描いたミュージカルを開催するとともに、広島のこどもたちとの共演による音楽祭を開催する。 時 期：令和7年8月 場 所：JMSアステールプラザ ほか
7 オロチ・神楽とオーケストラの協演-平和の舞 2025 “鎮魂と再生”-被爆 80 周年公演 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	世界平和を祈念するメッセージと広島の魅力を一体的に発信していくため、広島の文化的な財産である神楽と広島交響楽団がコラボレーションし、鎮魂と再生の意味を持つ「八岐大蛇」を素材とした神楽公演を開催する。 時 期：令和7年6月1日 場 所：JMSアステールプラザ 大ホール
8 現代美術館特別展の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 (現代美術館)】	平和の希求には文化の充実と豊かさが重要であることを伝えるため、現代美術を通してヒロシマの実相を伝え、平和の意義をアピールする特別展を実施する。 時 期：令和7年8月～10月 場 所：現代美術館
9 平和のタペコンサートの開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	「平和への思い」を共有するため、世界的なピアニストであるマリア・ジョアン・ピリス氏を迎えて、平和をテーマとしたクラシックコンサートを開催する。併せて、生花による会場の飾り付けなどの取組を行う。 時 期：令和7年8月5日 場 所：広島文化学園HBGホール
10 広島ゆかりのアニメーション 2025 上映会の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	広島とアニメーションとの関わりを再発見し、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして捉え直す機会とするため、被爆体験をテーマにしたアニメーション、広島在住のアニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを特集・上映する。 時 期：令和7年8月 場 所：映像文化ライブラリー

事業名【担当課等】	事業内容
11 広島国際映画祭の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	広島や平和を世界に発信するとともに、世界各国の人々の交流促進にもつなげるため、世界中から集めた広島や平和をテーマとした映画やポジティブな力を持つ映画を上映する。併せて、ゲストや関係者による原爆慰霊碑への献花、ワークショップ等を実施する。 時 期：令和7年11月 場 所：NTTクレドホール
12 被爆80周年広島交響楽団特別定期演奏会の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	演奏を通して来場者に平和への願いを伝えるため、平和や広島に 対し強い思いを持つウラディーミル・フェドセーエフ氏を指揮に迎 え、ピアニストの角野隼斗氏とともに広島交響楽団による被爆80 周年特別定期演奏会を開催する。加えて、広響平和音楽大使マルタ・ アルゲリッチ氏が推薦するピアニスト、酒井茜氏による被爆ピアノ を用いた音楽演奏等を実施する。 時 期：令和7年6月21日、22日 場 所：広島国際会議場フェニックスホール、 JMSアステールプラザオーケストラ等練習場
13 広島ウインドオーケストラ平和定期演奏会の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	演奏を通して来場者に平和への願いを伝えるため、広島を中心に 活躍するプロ演奏家で結成された広島ウインドオーケストラによる 「平和定期演奏会」を開催する。併せて、「平和への思い」を伝導で きる次世代の音楽家の育成に取り組む。 時 期：令和7年10月11日 場 所：JMSアステールプラザ 大ホール
14 平和芸術団の海外派遣 【市民局文化スポーツ部文化振興課 文化のまちづくり担当】	被爆の実相と「ヒロシマの心」を世界に向けて発信し、平和文化 を国際社会に根付かせるため、本市唯一の音楽大学であるエリザベ ト音楽大学の学生等を「平和芸術団」として海外の音楽祭等に派遣 し、演奏や現地学生等との交流等を行うとともに、原爆に関する実 物資料の展示を行う。 時 期：令和7年7月～8月 場 所：ドイツ・ハノーバー市、 イタリア・ベネチア市及びローマ市
15 観音新町運動広場開場記念競技大会の開催 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	スポーツができる平和を実感してもらうとともに、本市の平和文 化の取組を広めるため、市内及び広島広域都市圏内の競技チームに よる少年野球、ソフトボール及びサッカーの記念大会を開催する。 時 期：令和7年7月～11月 場 所：内外工業いくえい会 観音新町運動広場
16 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	市民の生涯スポーツに対する関心を喚起し、継続させるとともに、 参加者に平和であることに思いを馳せることができる機会を作るた め、区対抗のスポーツ交歓競技大会やレクリエーション運動会など を開催する。併せて、参加者等に会場で折り鶴を折ってもらうこと により、「平和への思い」の共有を図る。 時 期：令和7年10月12日 場 所：広島広域公園 ほか

事業名【担当課等】	事業内容
17 「アーバンフューチャーズ広島」の開催支援 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	スポーツができる平和を実感してもらうとともに、世界に向けて平和都市広島を発信するため、BMXフリースタイルなど主要な4種目のアーバンスポーツの国内トップレベルの選手が参加する競技大会と一般参加型イベントを同時に行う「アーバンフューチャーズ広島」の開催を支援する。併せて、選手による原爆死没者慰霊碑への献花を行う。 時 期：令和7年4月18日～20日 場 所：ひろしまゲートパーク
18 「第64回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」の開催 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	「平和への思い」を全国に発信するため、毎年、全国で1か所のみ実施される(株)かんぽ生命保険主催の1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭を本市で、被爆ピアノの伴奏により開催する。 時 期：令和7年8月17日 場 所：広島広域公園
19 姉妹都市との青少年交流事業 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	姉妹都市との交流を一層促進するとともに、「平和への思い」を共有するため、姉妹都市から青少年のサッカーチームを受け入れ、交流試合を開催するとともに、平和記念資料館での平和学習等を実施する。 時 期：令和7年8月 場 所：エディオンピースウイング広島 ほか
20 レジェンドサッカーチャリティーマッチの開催支援 【市民局文化スポーツ部スポーツ振興課】	サッカーを通じて人々に喜びや連帯をもたらし、世界平和を願うため、サッカー界の世界的レジェンドであるジーコ氏らが提唱するチャリティーマッチ「ジョーゴ・ダス・エストレーラス」の広島開催を支援する。 時 期：令和7年7月 場 所：エディオンピースウイング広島
21 被爆ピアノによる慰霊演奏会の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当】	原爆死没者を慰霊するとともに、市民が平和について考えるきっかけとするため、原爆死没者慰霊碑前で、「ひろしま被爆ピアノ友の会」による被爆ピアノでの慰霊演奏会を開催する。 時 期：令和7年8月5日 場 所：平和記念公園内 原爆死没者慰霊碑周辺
22 マーガレットコンサートの開催 【健康福祉局障害福祉部障害福祉課】	障害者のより積極的な社会参加を促進するとともに、参加者や観客と「平和への思い」を共有するため、広島交響楽団の演奏、障害者団体による和太鼓演奏、両者による合奏などから構成される障害者と広島交響楽団のジョイントコンサートを開催する。 時 期：令和8年1月下旬 場 所：広島国際会議場
23 障害者ピースアート事業の実施 【健康福祉局障害福祉部障害福祉課】	障害者の新たな生きがいづくりや社会参加を促進するとともに、応募者や来場者と「平和への思い」を共有するため、障害者が制作したアート作品を募集し、入選作品を「広島市ピースアートプログラムアート・ルネッサンス」で展示する。併せて、障害者アートに関するシンポジウムを開催する。 時 期：令和7年9月下旬 場 所：合人社ウエンディひと・まちプラザ ほか

事業名【担当課等】	事業内容
24 I P R A Y 2025 の開催 【こども未来局こども青少年支援部】	文化芸術活動による「平和への思い」の継承と共有へとつなげるため、原爆投下による広島の惨禍と復興に向けて立ち上がった人々の平和を願う姿を題材として、特定非営利活動法人 I P R A Y によるこどもたちを中心とした創作劇を上演する。 時 期：令和7年8月23日、24日 場 所：J M S アステールプラザ
25 東京ガールズコレクションを活用した広島の魅力発信 【経済観光局観光政策部 M I C E 戦略担当】	次世代の平和文化の担い手である若い世代への情報伝達力が大きい東京ガールズコレクションを活用し、広島の魅力を届けるとともに、平和であることの実感や平和であることに思いを馳せてもらうための取組を行う。 時 期：令和7年度 場 所：広島市内
26 「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインリニューアル 【中区市民部地域起こし推進課】	日常の暮らしの中にある「平和」を実感し、「平和への思い」を継承していく契機とするため、「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインをリニューアルし、設置記念日にセレモニーで公開する。 時 期：令和7年7月7日 場 所：紙屋町シャレオ

(2) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供

次世代の平和文化の担い手の育成が求められている現状を踏まえ、青少年への平和教育や、市民や来訪者が平和について学ぶことができる場の提供などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
27 似島歓迎交流センターの歴史平和資料等の展示スペースリニューアル 【企画総務局地域活性化調整部 地域活性推進課】	似島歓迎交流センターにおいて、「平和への思い」を共有する場を提供するため、同センターの歴史平和資料等の展示スペースを拡張し、戦争遺構等の紹介パネルなどを展示するとともに、似島の歴史などを紹介する動画の上映を行うための環境を整備する。 時 期：令和7年11月頃 場 所：ユーハイム似島歓迎交流センター
28 国連軍縮研究所（ユニディール）による講演会及び研究交流会の開催 【企画総務局行政経営部行政経営課 （（一社）ヒロシマ平和研究教育機構）】	次世代の平和文化の担い手の育成と平和研究の活性化を図るため、軍縮と安全保障に関する研究を行う国連軍縮研究所（ユニディール）所長を講師として、大学生など若い世代に向けた講演会を開催するとともに、研究者との研究交流会を実施する。 時 期：令和7年5月24日 場 所：広島国際会議場
29 青少年を中心とする平和文化イベントの開催 【市民局市民活動推進課】	被爆の記憶の風化を防ぐとともに、世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を訴えるため、次世代を担う青少年による平和メッセージの発信を中心とする平和文化イベントを開催する。また、市内の高校等に対するイベントへの参加・協力の呼び掛けや体験型のイベントの拡充などにより、プログラムの充実を図る。 時 期：令和7年8月6日 場 所：広島国際会議場
30 原爆・平和を読み語り継ぐ事業の実施 【市民局生涯学習課（中央図書館）】	平和学習を効果的に支援するため、被爆や平和についての調査で想定される様々なテーマと、それに関連する図書館資料をまとめた目録を作成し、市内の生涯学習施設や学校、都道府県立・政令指定都市立図書館等への配付などを行う。併せて、目録掲載資料の現物等を紹介する企画展や被爆体験者の証言を聞く会を開催する。 時 期：令和7年度上期 場 所：中央図書館
31 「子どもたちへ原爆を語りつぐ本―総集版・2025―」の発行関連事業の実施 【市民局生涯学習課（こども図書館）】	より多くの人に原爆や平和について学ぶ機会を提供するため、原爆に関する児童書の目録である「子どもたちへ原爆を語りつぐ本」について増補改訂版を発行する。併せて、発行を記念して作家による講演会や、小・中学生を主な対象として、目録に収録した本を紹介するブックトークを開催する。 時 期：令和7年度 場 所：5-Days こども図書館
32 平和をテーマにした映画の特集上映 【市民局生涯学習課 （映像文化ライブラリー）】	映像を通じて、被爆体験の継承と「平和への思い」の共有を図るため、映像文化ライブラリーにおいて、開館以来収集してきた平和や原爆をテーマにした映画を集中的に上映する。 時 期：令和7年7月～9月 場 所：映像文化ライブラリー

事業名【担当課等】	事業内容
33 平和記念都市広島発展をたどる写真展の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	写真を通じて、多くの人に「平和への思い」を共有する機会を提供するため、被爆建物である旧日本銀行広島支店において、被爆による廃墟の中から立ち上がり、平和記念都市として発展した広島の歩みをたどる写真展を開催する。 時 期：令和7年9月 場 所：旧日本銀行広島支店
34 博物館資料を活用した企画展の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	若い世代や国内外から訪れる人々に「平和への思い」の継承と共有を図るため、被爆建物である旧日本銀行広島支店において、被爆による廃墟の中から立ち上がり復興した広島の姿と人々の暮らしをテーマとする企画展を開催する。 時 期：令和7年11月 場 所：旧日本銀行広島支店
35 平和のためのダイアログ・イン・ザ・ダーク広島の開催 【市民局文化スポーツ部文化振興課】	市民や来訪者が様々な垣根を超えて対等な立場でつながり、「平和と信じること」について考え、対話する機会を提供するため、暗闇空間で視覚以外の感覚を使って日常生活の様々なシーンを体験するイベントを開催する。 時 期：令和7年8月2日～11日 場 所：旧日本銀行広島支店
36 戦後80年の暮らしの変化をたどる企画展示 【市民局文化スポーツ部文化振興課（郷土資料館）】	戦争のない時代の世相を実感し、平和の尊さを再認識する機会を提供するため、戦後復興から高度経済成長、バブル経済といった節目を経て大きく様変わりした衣食住や生活道具などの変遷をたどる企画展示を行う。 時 期：令和7年12月～令和8年2月 場 所：郷土資料館
37 被爆建物（旧広島地方气象台）ガイドと原爆被害調査資料の展示 【市民局文化スポーツ部文化振興課（江波山気象館）】	被爆当時、困難な状況の中でも懸命に生きた人々について紹介するとともに、平和を考える機会を提供するため、被爆建物に残る被爆の傷跡についての紹介や当時の气象台員による原爆被害調査の活動などについての展示を行う。 時 期：令和7年8月及び11月 場 所：江波山気象館
38 被爆電車の車内公開等の実施 【市民局文化スポーツ部文化振興課（交通科学館）】	市民や来訪者に「平和への思い」を共有する学習や活動の機会を提供するため、被爆電車の車内公開を行うほか、原爆の被害や戦後の復興に関する記録写真・映像等の展示・上映や、被爆電車に関する工作イベント等を行う。 時 期：令和7年6月～8月 場 所：ヌマジ交通ミュージアム
39 企画展「ユネスコ世界の記憶 広島原爆の視覚的資料-1945年の写真と映像」の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当（（公財）広島平和文化センター）】	ユネスコ「世界の記憶」への登録実現に向けた機運を高めるとともに、多くの方々に被爆の実相についての理解を深めてもらうため、令和5年11月に政府の推薦を受けて申請した、1945年12月末までの原爆投下で壊滅した直後の広島の街の様子などを記録した資料を紹介する企画展を開催する。 時 期：令和7年2月～9月 場 所：平和記念資料館

事業名【担当課等】	事業内容
40 若い世代による被爆地での平和学習に対する支援 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 （（公財）広島平和文化センター）】	全国の自治体による若い世代の平和記念式典への派遣を促進し、平和学習を行う機会を拡充するため、派遣経費に対する支援を行う。 時 期：令和7年度以降
41 若者による平和の誓いの集いの開催 【市民局国際平和推進部平和推進課】	「ヒロシマの心」の次世代への継承を推進するため、次代を担う若者が主体となって、厳粛な雰囲気の中で平和記念公園において、音楽演奏や平和宣言の読上げ、動画・スライド投影など、平和のメッセージを発信するイベントを開催するとともに、若い世代への広報の充実を図る。 時 期：令和7年11月 場 所：平和記念公園
42 国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 （（公財）広島平和文化センター）】	核兵器廃絶に向けた国際世論の醸成及びリーダーの育成につながるため、国連大学において、被爆の実相を示す写真ポスターの展示や被爆体験講話などで構成する「原爆写真ポスター展」を開催する。 時 期：令和7年夏頃 場 所：国連大学（東京都渋谷区）
43 「広島・長崎講座」設置協力プログラムの実施 【市民局国際平和推進部平和推進課 （（公財）広島平和文化センター）】	被爆の実相や被爆者の核兵器廃絶への願いを若い世代に伝えていくため、国内外の大学・大学院において、広島及び長崎における被爆体験の持つ意味を学問的に考察・検証し、伝える「広島・長崎講座」の一層の普及を図る。 時 期：令和7年度
44 国連訓練調査研究所（ユニタール）の研修プロジェクトに対する支援 【市民局国際平和推進部国際化推進課】	核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組を促進するため、国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所が実施する以下の取組を支援する。 (1) アジア諸国の外交官等が参加し、核軍縮等を巡る国際情勢等の講義や参加者による外交交渉のロールプレイ等を行う「平和構築に向けた核軍縮・不拡散推進のための研修」 (2) 最先端のデジタル技術を学び、その技術を生かして、持続可能で平和な未来を達成するための行動計画を立案・発信する「SDGs達成に向けた若者のデジタル表現能力強化事業」 時 期：(1)令和8年2月頃、(2)令和7年4月～8年3月 場 所：(1)広島市内、(2)広島市内及びオンライン
45 広島・長崎市児童生徒平和のつどいの開催 【こども未来局こども青少年支援部】	広島市・長崎市の児童生徒の平和意識の高揚を図り、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育むため、両市の児童生徒が合同で平和学習を実施する。 時 期：令和7年7月下旬 場 所：広島市内

事業名【担当課等】	事業内容
46 復興の都市計画についての企画展の開催 【都市整備局都市計画課】	広島復興に際し、平和記念公園や平和大通り等の幹線道路など都市を形成する骨格を定めた「広島平和記念都市建設計画」が果たした意義を市民に再認識してもらうとともに、復興の記憶を継承するため、同計画の役割等を広く紹介する企画展を開催する。 時 期：令和7年8月6日前後の約10日間 場 所：広島市内
47 夏の夜、祈りと平和の夕べ 【東区市民部地域起こし推進課】	原爆被害への理解を深めるとともに、平和へ思いを馳せる機会を創出するため、二葉の里歴史の散歩道沿いにある社寺で、和楽器の演奏や来訪者へのガイドツアーを実施する。併せて、原爆に関連する写真展示や原爆と関係の深い宝物の限定公開を行う。 時 期：令和7年8月5日 場 所：二葉の里地域の社寺（広島市東区）
48 『「命の水」～ひろしま水道物語～』による被爆体験の伝承 【水道局企画総務課】	幅広い世代に平和の尊さについて考える機会を持つってもらうため、原爆投下の日、自ら火傷を負いながらも壊れたポンプを修理し、広島の街に水を送り続けた職員（堀野九郎技手）の行動を描いた『「命の水」～ひろしま水道物語～』について、被爆電車を活用したイベントやホームページ、パンフレット等で紹介する。 時 期：令和7年度 場 所：広島市内
49 こどもたちによるヒロシマの継承と発信 【教育委員会学校教育部 指導第一課、指導第二課】	こどもたちによるヒロシマの継承と発信に向けた各種取組を実施する。 (1) 児童生徒等を対象とした平和に関する意識実態調査の実施 (2) 平和についての作文募集や意見発表会、こどもピースボランティア等を行う「こどもピースサミット」 (3) 中学生を対象に、被爆体験者等の講話や他都市の学生との平和交流を行う「伝える HIROSHIMA プロジェクト」 時 期：(1)令和7年9月以降、(2)令和7年6月～10月、 (3)令和7年6月～8月 場 所：(1)市立小学校～高等学校、(2)広島市内、(3)市内外
50 小・中・高校生による文化の祭典 【教育委員会学校教育部 指導第一課、指導第二課】	こどもたちによる平和の実感と「平和への思い」の共有等を図るため、小・中・高校生等が参加する「つながろう 平和文化の輪 ～第19回小・中・高校生による文化の祭典～」を開催し、各校種・各部における文化芸術活動の成果発表等を行う。 時 期：令和7年10月～令和8年2月 場 所：シャレオ地下広場、JMSアステールプラザ ほか

(3) まちの姿を通した平和への願いの発信

景観や建築物などまちの姿を通して平和への願いを発信できるよう、ハード・ソフト両面での事業を実施する。

事業名【担当課等】	事業内容
51 毛利輝元没後 400 年記念事業の実施 ～はじまりの天守、つなぐ広島城 三の丸歴史館～ 【市民局文化スポーツ部文化振興課 広島城活性化担当】	被爆以前の広島歴史・文化や被爆からの復興の歴史の発信を通じて「平和への思い」の共有を図るため、平和的統治の象徴として広島城天守を築き、現在のまちの姿にも受け継がれる城下町「広島」の基礎を作った大名・毛利輝元没後 400 年の節目(令和 7 年度)に、輝元をテーマとしたトークイベント等による記念事業を実施する。 時 期：令和 7 年度 場 所：広島市内
52 平和大通りの利活用の推進 (平和大通りへの芸術作品の設置等) 【経済観光局観光政策部観光企画担当】	人々に平和を実感してもらえる「平和のシンボルロード」を目指す姿としている平和大通りの魅力や価値を高めるため、平和をテーマとした芸術展を開催するとともに、芸術作品を設置する。 時 期：令和 7 年度 芸術展の開催 令和 8 年度以降 芸術作品の設置 場 所：平和大通り
53 広島の誇りある景観まちづくり形成プロジェクト 【都市整備局都市計画課、 緑化推進部公園整備課】	被爆後の広島景観の価値を再認識してもらうとともに、その景観を形作った広島城築城以来の歴史・伝統を理解してもらうため、80 周年の節目を捉えた景観を記録する写真集を作成する。また、良好な景観の形成に向けた意識や方向性の共有を図るため、景観シンポジウムを開催する。さらに、原爆ドームを望む南北軸線上の眺望景観の目指すべき姿の実現のため、植栽環境の改善とその取組周知を行う。 時 期：令和 7 年度 写真の募集、景観シンポジウム 令和 8 年度 写真集等の作成 令和 7 年度～11 年度 植栽環境の改善、取組周知 場 所：広島市内
54 京橋の復元 【道路交通局道路部道路計画課】	西国街道をより一層歴史を感じることができる通りとし、市民や来訪者がまちの歴史に思いを巡らせ、平和について考えるきっかけとするとともに、街道沿線の一層の賑わいを創出するため、広島の復興を見届けてきた被爆橋の一つである京橋について、長寿命化工事に合わせて、戦時中の金属回収令により石造りとされた高欄や親柱等を架設当時の姿である青銅製に復元する。 時 期：令和 7 年度 着工 場 所：南区京橋町 ほか
55 西平和大橋歩道橋の整備 【道路交通局道路部道路計画課】	平和記念公園を中心とした回遊性の向上を図り、市民や来訪者が一層落ち着いた環境の中で被爆の実相に触れ、「平和への思い」を共有できるようにするため、戦災復興期に建設された西平和大橋に歩道橋を整備する。 時 期：令和 6 年度 予備設計 令和 7 年度 詳細設計 令和 8 年度以降 着工 場 所：中区中島町 ほか

事業名【担当課等】	事業内容
56 アートラッピングを施したスマートごみ箱の設置 【環境局業務部業務第一課】	市民や来訪者を「ごみのないきれいなまち」で迎えるとともに、平和を願うメッセージを発信するため、ぽい捨て等の防止効果のあるスマートごみ箱に、平和への願いをテーマとしたアートラッピング等を施して市内中心部に設置する。 時 期：令和7年度 場 所：市中心部（8 か所）
57 基町写真展の開催 【中区市民部地域起こし推進課（広島市立大学）】	被爆の惨禍を乗り越え復興した広島について、一人一人が改めて考える契機とするため、市民が撮影した写真を通して基町住宅地区の変遷を紹介する写真展を開催する。併せて、カメラの原型であるカメラ・オブスクラで現在の街並みを写す体験イベントを実施する。 時 期：令和7年7月頃 場 所：中区基町（基町プロジェクト活動拠点各所） ほか

(4) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり

戦争経験者・被爆者の高齢化を踏まえ、被爆の実相を伝える被爆建物や被爆樹木の保存・活用の取組、新たなデジタル技術を活用した被爆体験の継承活動などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
58 国内ジャーナリスト研修 【市民局国際平和推進部平和推進課】	国内マスメディア等による報道や論説活動等を通じて、被爆の実相や「ヒロシマの心」を国内外へ幅広く発信するため、若手ジャーナリストを対象に、被爆の実相や被爆地広島の問題、核兵器を巡る世界情勢等について総合的、体系的に学ぶ国内ジャーナリスト研修を実施するとともに、研修の受入人数の拡大を図る。 時 期：令和7年7月下旬～8月上旬 場 所：広島国際会議場 ほか
59 被爆樹木の再生利用 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当】	被爆の実相を伝える被爆樹木の活用により、平和意識を醸成するため、樹勢回復措置で廃棄せざるを得なかった剪定枝等を再生製品として活用する団体等を募集し、配付する。 時 期：令和5年度以降 被爆樹木の剪定枝等を集積 令和7年度以降 事業開始
60 AI・VRを活用した被爆体験の継承 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当】	被爆者の言葉や平和への思いを的確かつ確実に後世へと伝えるため、AIやVRなどデジタル技術を活用した新たな被爆体験継承の取組として、「被爆証言応答装置」の製作や、被爆体験記等の情報を一つのデータベースに集約し、入出力にAIを活用した検索システムの構築のほか、原爆投下時の悲惨さや現在の広島の状況を疑似体験できるVRゴーグルの活用を図る。 時 期：令和6年度以降
61 国内原爆・平和展の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当 （（公財）広島平和文化センター）】	被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての世論を醸成するため、国内の主要都市において、被爆の実相を示す写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験講話などで構成する「国内原爆・平和展」を開催する。 時 期：令和7年度 場 所：東京都杉並区、石川県金沢市
62 被爆体験記集の作成・配付 【(1)市民局国際平和推進部平和推進課被爆体験継承担当 （（公財）広島平和文化センター）】 【(2)健康福祉局原爆被害対策部調査課】	次世代を担うこどもたちなどへ被爆体験を継承するため、被爆体験記集の作成・配付を行う。 (1) 県内の被爆者への聴き取りと代筆により取りまとめた被爆体験記集を作成し、平和学習資料として広島市内の中学校・高等学校等へ配付する。 (2) 広島原爆養護ホーム入園者への聴き取りにより取りまとめた被爆体験記集を作成し、慰問に来られた学校の平和学習に活用するとともに、学校等への配付、ホームページ上での公開を行う。 時 期：(1)令和7年8月、(2)令和7年5月末

事業名【担当課等】	事業内容
63 平和記念資料館の混雑対策 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 ((公財) 広島平和文化センター)】	平和記念資料館の混雑を緩和し、国内外から来館する多くの方々の利便性の向上を図るため、WEBを活用したチケット購入・予約システムの運用及び開館時間の延長を行うとともに、自動券売機を増設する。 時 期：令和6年2月以降 場 所：平和記念資料館
64 平和記念資料館のこども向け展示の整備 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 ((公財) 広島平和文化センター)】	こどもたちの平和学習の効果を高めるため、東館地下1階に、こどもたちにも分かりやすい内容の新たな展示や学習スペースを整備する。 時 期：令和7年度～9年度 場 所：平和記念資料館
65 平和記念資料館東館1階「情報コーナー」のリニューアル 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 ((公財) 広島平和文化センター)】	東館3階の常設展示を補完するものとして、核兵器廃絶を求める国際的な動向に関する最新情報を伝えるとともに、核兵器の非人道性への理解を更に広めるため、東館1階「情報コーナー」をリニューアルする。 時 期：令和7年度 場 所：平和記念資料館

(5) 平和都市としての国際的な認知度の向上

被爆 80 周年の節目に、国際的な交流イベントの実施や、国内外に向けた平和メッセージの発信などに積極的に取り組む。

事業名【担当課等】	事業内容
66 「平和記念都市広島誕生」の編集・発行 【企画総務局公文書館】	核兵器のない世界の実現を願う市民意識の高揚を図るため、広島城築城から近代都市として発展、被爆、復興を経て現在に至るまでの本市の歴史文化を分かりやすく伝える Web 版小冊子を、これまで編さんした市史などを基に英語及び日本語で編集し、発行する。 時 期：令和 7 年度
67 平和に関するシンポジウムの開催 【企画総務局行政経営部行政経営課】 (1)広島市立大学広島平和研究所 (2)(一社)ヒロシマ平和研究教育機構 【(3)市民局国際平和推進部平和推進課 (（公財）広島平和文化センター）】	平和に関する研究成果の共有・還元や、平和意識の高揚等を図るため、各種シンポジウムを開催する。 (1) 核兵器廃絶や平和の構築をテーマとして、国内外の専門家を招き、広島平和研究所教員の講演などによるシンポジウムを開催 (2) 広島での滞在経験を積んだ海外の若手研究者による研究発表や平和関係の専門家による基調講演などによるシンポジウムを開催 (3) 平和や安全保障に関する国内外の専門家等を招き、講演やパネルディスカッションなどによるシンポジウムを開催 時 期：(1)令和 7 年 7 月、(2)令和 7 年 12 月（予定）、(3)令和 7 年 8 月 2 日 場 所：(1)～(3)広島国際会議場 ほか
68 平和文化月間におけるイベントの開催 【市民局国際平和推進部平和推進課 (（公財）広島平和文化センター）】	平和文化のより一層の普及促進を図るため、11 月の平和文化月間において、芸術文化活動やスポーツを通じた交流など「平和への思い」の共有につながる様々な「文化」の取組を、民間企業や市民団体等にも働き掛けて集中的に実施するとともに、若い世代への広報の充実を図る。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：広島市、広島広域都市圏構成市町
69 大阪・関西万博開催期間における平和の発信力の強化 【市民局国際平和推進部平和推進課 (（公財）広島平和文化センター）】	大阪・関西万博開催を機に、国内外から訪れる多くの方々に、被爆の実相に触れて「平和への思い」を共有してもらうとともに、被爆地訪問のきっかけにもらうため、大阪の平和博物館「ピースおおさか」において、長崎市との共催により原爆・平和展を行う。併せて、関西圏の平和首長会議加盟都市と連携して原爆ポスター展などを行う。 時 期：令和 7 年 8 月下旬～12 月下旬 場 所：大阪市 ほか
70 第 63 回パグウォッシュ会議世界大会の開催支援 【市民局国際平和推進部平和推進課】	核兵器廃絶に向けた国際世論の醸成を図るため、核兵器廃絶を始めるとする科学と社会の諸問題について世界の科学者が議論する「パグウォッシュ会議」の広島開催を支援し、基調講演、パネルディスカッションなどを行うとともに、核兵器廃絶のための議論の成果を宣言として世界に向けて発信する。 時 期：令和 7 年 11 月 1 日～5 日 場 所：広島国際会議場

事業名【担当課等】	事業内容
71 広島プレスツアーの実施 【市民局国際平和推進部平和推進課】	核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた国際世論の醸成を図るため、在日外国メディアを対象に、平和記念資料館の視察や被爆者へのインタビューなど、被爆の実相や原爆投下から 80 年経った現状を取材するプレスツアーを実施する。 時 期：令和 7 年 7 月上旬～中旬の 2 日間（予定） 場 所：平和記念資料館 ほか
72 ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催 【市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 （（公財）広島平和文化センター）】	被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成するため、長崎市と共同で、海外の主要都市等において、被爆の実相を示す写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験講話などで構成する「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」を開催する。 時 期：令和 7 年度 場 所：オーストラリア・パース市、アメリカ合衆国・ホノルル市
73 第 11 回平和首長会議総会 【市民局国際平和推進部平和推進課 （（公財）広島平和文化センター）】	核兵器のない平和な世界の実現に向けて、国内外の 8,400 を超える都市が加盟している「平和首長会議」の国際的な認知度の一層の向上を図るため、長崎市で開催する第 11 回平和首長会議総会を被爆 80 周年記念事業と位置付けた上で、基調講演や被爆体験講話、アピール文の採択など各種プログラムを行う。 時 期：令和 7 年 8 月 場 所：長崎市内
74 国際フェスタの開催 【市民局国際平和推進部国際化推進課 （（公財）広島平和文化センター）】	市民の国際交流・協力活動への興味・関心を高めるため、多文化共生及び国際交流・協力に関する講演会や文化体験コーナー等の設置、平和団体の活動紹介展示等を行う国際フェスタを開催する。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：広島国際会議場、平和大通り、平和記念公園
75 姉妹・友好都市記念イベントの開催 【市民局国際平和推進部国際化推進課 （（公財）広島平和文化センター）】	姉妹・友好都市をより身近に感じてもらうとともに、平和文化について考えるきっかけを提供するため、姉妹・友好都市提携を結ぶ海外 6 都市について、音楽コンサートや交流の歴史等の展示などを通じて、友好の意味と国際理解を深める市民参画型の交流イベントを実施する。 時 期：令和 7 年 5 月（大邱の日、ハノーバーの日） 7 月（モントリオールの日） 9 月（ボルゴグラードの日）※開催未定 10 月（重慶の日） 11 月（ホノルルの日） 場 所：留学生会館、広島駅地下広場 ほか
76 「オリーブの木」記念植樹式の開催 【市民局国際平和推進部国際化推進課】	平和意識の一層の醸成を図るため、イタリアオリーブオイルの町協会からの寄贈により、平和の象徴であるとされるオリーブの木を国際会議場敷地に植樹するセレモニーを行う。 時 期：令和 7 年 11 月 場 所：国際会議場敷地

事業名【担当課等】	事業内容
77 若者による相互理解・交流促進事業の実施 【市民局国際平和推進部国際化推進課】	若者による異文化理解と未来志向の交流の促進を図るため、ホノルルの若者を本市に迎え、若者同士の交流や文化体験の場を設定するとともに、被爆の実相に触れるプログラムの提供、被爆者を交えた意見交換などを行う。 時 期：令和7年8月 場 所：広島市内
78 青少年国際平和未来会議の開催 【こども未来局こども青少年支援部】	広く世界の青少年に「ヒロシマの心」を伝え、世界平和への意識を高めていくために、世界の国々と本市の青少年が、世界平和についての意見交換を行い、その実現に向けた取組を進めていくことをヒロシマアピールとして取りまとめる。 時 期：令和7年8月1日～9日 場 所：広島市内
79 広島・長崎連携観光キャンペーン事業の実施 【経済観光局観光政策部観光企画担当・観光プロモーション担当】	被爆都市である本市と長崎市が連携し、外国人観光客の誘客拡大等を図るため、平和文化の発信を始めとするプロモーションや平和学習を取り入れた新たな観光プログラムの造成等の連携事業を実施する。 時 期：令和6年度～8年度 場 所：広島市、長崎市
80 ピースツーリズム推進事業の実施 【経済観光局観光政策部観光プロモーション担当】	外国人旅行者等の市内での周遊を促進するため、主要な平和関連施設等を巡る「ピースツーリズム」について、情報発信の強化や体験型周遊イベントを実施する。 時 期：令和6年度～7年度 情報発信の強化 (案内リーフレットの改訂(日・英)、PR動画の活用) 令和7年11月 体験型周遊イベントの開催 場 所：広島市内の平和関連施設 ほか